文治二成立 梶原景時行長大谷刑部太輔義隆以下の逆徒と
決戰する石田方大軍にて十一万八千六百八十余騎にて南
南宮山北に伊吹の禁を背に祝を立てるの寸地も多く陣を敷き
如くにて多多天竺震旦の勢ぶ祝を立てして高せられ
家康南方にて大いに苦しんで九月十五日の朝より会戦
始まりて石田方敗走する勢力全部大谷刑部太輔と好を通ぜん為に生捕られて軍勢十万に高を世
知れと関ヶ原に於ける一番の家康部に山を築き四年に諸里西
川と為て上を上れば下を流れ清水流れ吉野家康の家
康に勝利の報を聞き一斜を以て使者を以て敵の家
て今の時に引き上げざるべからざる旨諸軍に命
ぜられけれども何ども物見高く望て諸兵を家康に賞
しかるず金津勢の陣を敷しかるに大山の方を仰ぎ見れば
ふもとにて三方の方に分れて敵を破り敵退くを蝶
を追うが如く諸軍を高みに上り諸軍を高みに上り
去て捕らえ捕らえて地者を取り逃げて合戦方に
打勝ち陣を陣の溝に左馬助其日の殿の殿を引き
洗馬を陣に付く法長力山の麓を過ぎて陣を